「インスリン療法中の患者対応」研修

目的:持続インスリン静脈内注入や低血糖に関する知識を深め、低血糖時の対応を理解する

目標: 1.持続インスリン静脈内注入に関連した知識を習得できる

- 2.低血糖時の観察ができ、模擬患者の適切な対処ができる
- 3.先輩看護師や医師への報告・連絡・相談ができる
- 4.インスリン療法中の患者の安全な対応を具体的に述べることができる

事前課題 動画視聴

Let's

- 1)インスリン療法中の血糖測定の重要性
- 2)持続インスリン静脈内注入とは
- 3)持続インスリン静脈内注入中の流量調整スケールについて
- 4)インスリン療法中の低血糖対応

事前課題のポイントをしぼり、入院中の血糖管理目標や低血糖時の観察 対応、持続インスリン静脈内注入について振り返りました。







【講師】 糖尿病看護認定看護師 糖尿病診療支援センター 山本広美副看護師長



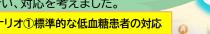
血糖値の変動原因は何かを考える 低血糖の症状は?



持続インスリン静脈内注入中の患者対応について 3つのシナリオに沿って演習を行い、対応を考えました。

> うわっ、低血糖?! 観察する症状って、、、

シナリオ①標準的な低血糖患者の対応





っとよくするためには…

- 他の低血糖症状を観察する。 インスリンを停止する
- (停止、電源off、三括ロック)。
- ・50%ブドウ糖20mLの準備 を依頼する。

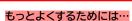
低血糖!でも元気っ?

説明を理解できない患者さん どう説明したらいいんだろう



シナリオ② 重症低血糖患者の対応

意識レベルがっ、、。でも、 さっきの振り返りを活かして 観察と対応を!!



- ・栄養チューブ・点滴等
- の作動、接続部を確認する。
- ・患者を触って観察する。
- 報告時に「至急です」と伝える。



シナリオ③ 無自覚低血糖の患者対応

もっとよくするためには…

- ・血糖値を再検査する。 低血糖時にインスリン注入
- を続けると重症低血糖等に 繋がるリスクを説明する。
- ・柵をあげる等の
- 安全対策を実施する。

血糖値は正しいのかなぁ~!?

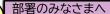


相手にわかりやすく P25→

ISBARCで伝えよう! 参加者の声(一部抜粋)

・インスリン持続投与中の患者さんに起こりうるリスクや優先して観察 すべき項目、低血糖にどのように対応すべきかが分かった、今後の看護 に活かしていきたい。

・低血糖対応だけでなく、低血糖になりやすい原因なども考えられたの でいい機会でした。インスリン静注の作成の練習などもできたらしたい。 ・血糖測定は毎日行いますが、低血糖症状時の対応について自信がな かったので、演習を受けて、対応の仕方について学ぶことができました。



今回の研修では、持続インスリン静脈内注入中の低血糖対応とし、 インスリンの停止を最優先で行い、50%ブドウ糖20mLの準備、 症状観察・報告の仕方などを学びました。

持続インスリン静脈内注射の作成や実際に患者対応をしたことがない 新人看護師がほとんどです。インスリン療法中の患者対応をする 機会があれば、留意点など部署でもご指導をよろしくお願いします。







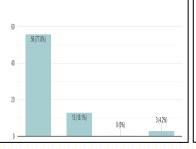


アンケート結果と確認テスト

N = 72

アンケート結果 理解度

とても 79.8% まあまあ 18.1% あまり 0% 全く 2%



アンケート結果

持続インスリン静脈内注入中の患者を対応 (観察・ケア含む)したことがありますか

ある 28.4% ない 71.6%



確認テスト Q1

持続インスリン静脈内注入の作成基準は?

(正)ヒューマリンR注50単位

+生食50mL 単位は正確に覚えましょう! またヒューマリンR注の吸引は、インスリン専用注

射器を必ず使用しましょう。 詳細はポケットマニュアルP42を確認! 確認テスト 0.2 低血糖時に静脈内注射する ブドウ糖液の濃度と投与量は?

(正) 50%ブドウ糖液20mL 長内注射する

濃度に注意しましょう。各部署の<mark>救急カート</mark>に 設置されています。場所を確認しよう。

確認テスト Q3

あなたは持続インスリン静脈内注入中の患者さんを担当しています。訪室すると、臥床したまま反応が 鈍く、低血糖が疑わしい状態です。 血糖値を「測定すると「53mg/dL」でした。 どのように対応しますか?

低血糖症状を観察!



インスリンの停止



患者の安全確保!





もう一度再検査!



ISBARCで報告!

